

名水百選「きそがわ(ちゅうりゅういき)木曾川(中流域)」について

場 所：愛知県犬山市～可児川合流点

形 態：河川

選定理由：良好な水質と豊富な水量を保っており、名古屋市等の上水源等として利用されている。また、本地域は急流、河床及び河岸が特異な風景をなし、優良な水環境として国の名勝に指定されるとともに飛騨木曾川国定公園の中にあり、一般のレクリエーションの場として広く親しまれている。

概 要：本河川は愛知県の北西部に位置し、岐阜県との境にある一級河川である。

本地域は、可児川との合流点から下流犬山市内の犬山城に至る木曾川の峡谷で、チャート(角岩)を主とし、それに粘板岩、硬砂岩を伴う古生層をもって構成されている岩層が複雑な褶曲を呈し、河岸や河床に見事な懸崖や奇岩、巨岩を多数生じて、河川の急流と兩岸背後の翠峰などとあいまって、風光明媚な峡谷を形成しており、ドイツのライン川にたとえられ、別名「日本ライン」と呼ばれる景勝地である。保全活動としては、年2回の水質調査、市民による清掃活動、地元小学校による木曾川の生態調査等を実施している。

また、本地域は木曾川に映える国宝犬山城、急流下りの「日本ライン下り」、伝統漁法である鵜飼など、全国的に知られた観光資源が数多くある一方で、鮎釣りや、アウトドアスポーツなどによって市民にもレクリエーションの場として広く親しまれている。特に最近では上流から下流まで、さらには木曾川の注ぐ伊勢湾までの広域連携めざす市民交流が活発に行われている。